

平成31年度岡山市学力アセス

調査の概要

岡山市教育委員会

1 調査の目的

- 児童生徒一人一人が自己の学習状況を把握し、今後の課題を明確にする。
- 調査結果を活用し、各校において教科研究の推進及び授業改善を図る。
- 児童生徒の学力状況を把握し、教育施策に反映する。
- 問題作成及び結果分析を教員が行うことによって、人材育成及び資質向上を図る。

2 調査の実施期間 平成31年4月17日（水）～19日（金）

3 調査の対象 岡山市立小学校第4・5学年児童 岡山市立中学校第1・2学年生徒

4 調査の内容

(1) 調査対象教科 小学校・・・国語・社会・算数・理科
 中学校・・・国語・社会・数学・理科・英語

(2) 出題内容等

- ア 学習指導要領に示された目標及び内容に基づき、出題範囲は、実施学年の前学年までの学習内容
- イ 基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等にかかわる内容を出題

5 実施状況

校種区分	対象校数	対象学年	受検者数
岡山市立小学校	89校	第4学年	5,990名
		第5学年	6,060名
岡山市立中学校	38校	第1学年	5,586名
		第2学年	5,345名
総計	127校		22,981名

6 岡山市の学力の状況

(1) 平均正答率

数値は% ()内は前年度

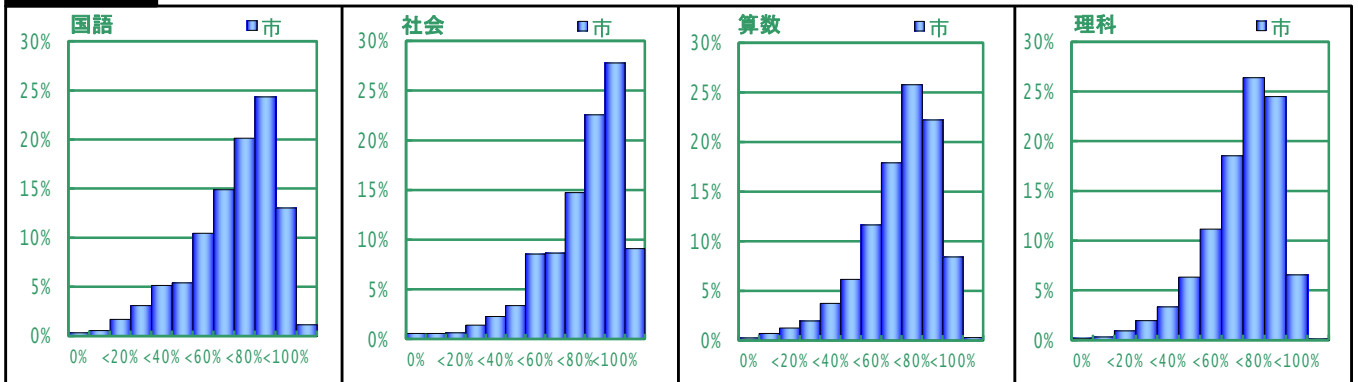
	学年	国語	社会	算数・数学	理科	英語
平均正答率	小4年	69.9(68.3)	78.1(67.3)	69.1(62.7)	68.0(72.4)	
	小5年	68.3(71.7)	74.9(71.3)	62.8(63.3)	67.6(70.2)	
	中1年	78.6(67.1)	67.2(69.9)	67.3(58.3)	57.8(63.3)	80.5(79.2)
	中2年	77.7(72.4)	64.2(60.1)	56.3(53.6)	60.4(58.0)	66.2(58.1)

(2) 無解答率

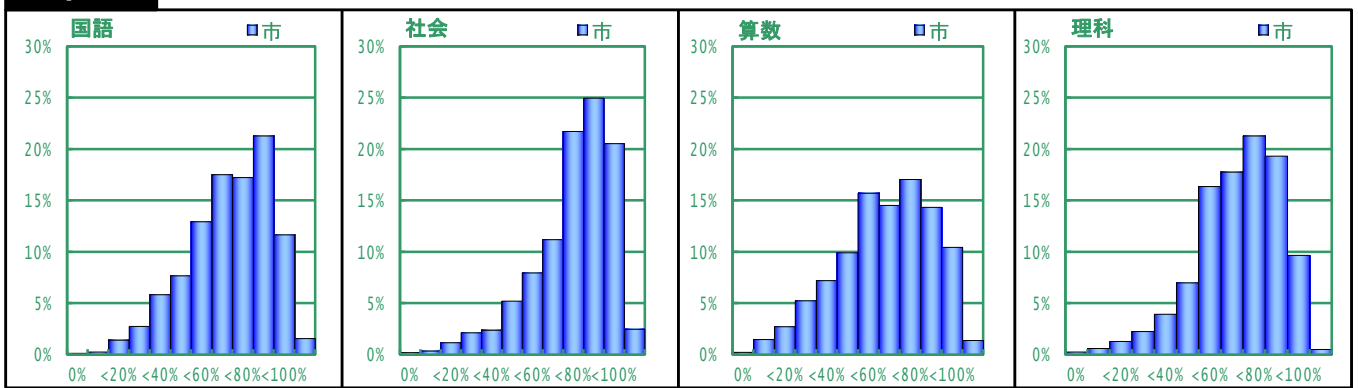
	学年	国語	社会	算数・数学	理科	英語
無解答率	小4年	5.9(7.5)	3.6(7.4)	3.3(6.5)	4.3(3.0)	
	小5年	6.8(5.0)	3.4(5.2)	6.3(6.2)	3.5(3.4)	
	中1年	2.1(4.5)	5.0(2.5)	6.1(8.2)	2.9(3.4)	0.8(1.0)
	中2年	4.8(5.8)	5.4(7.8)	10.5(9.5)	3.6(5.2)	6.7(8.1)

正答の状況(正答率度数分布)

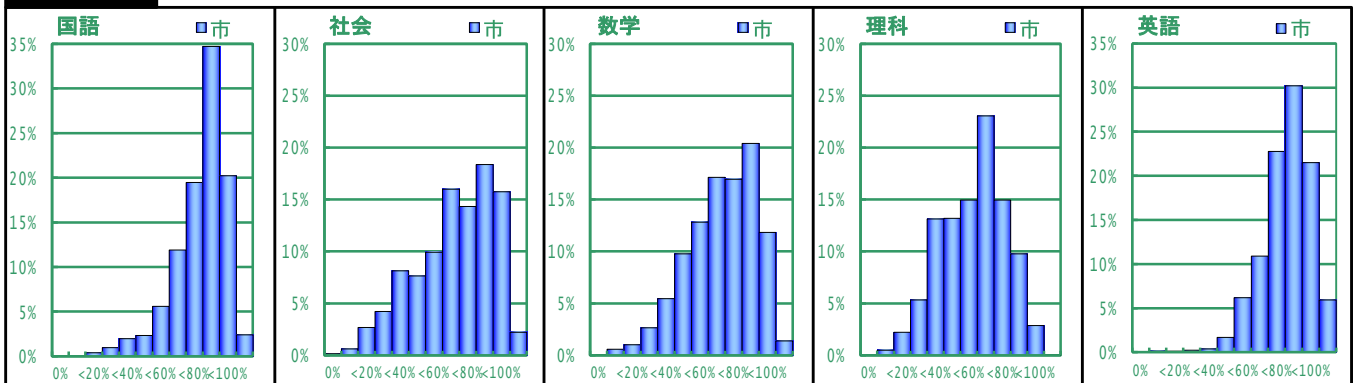
小4



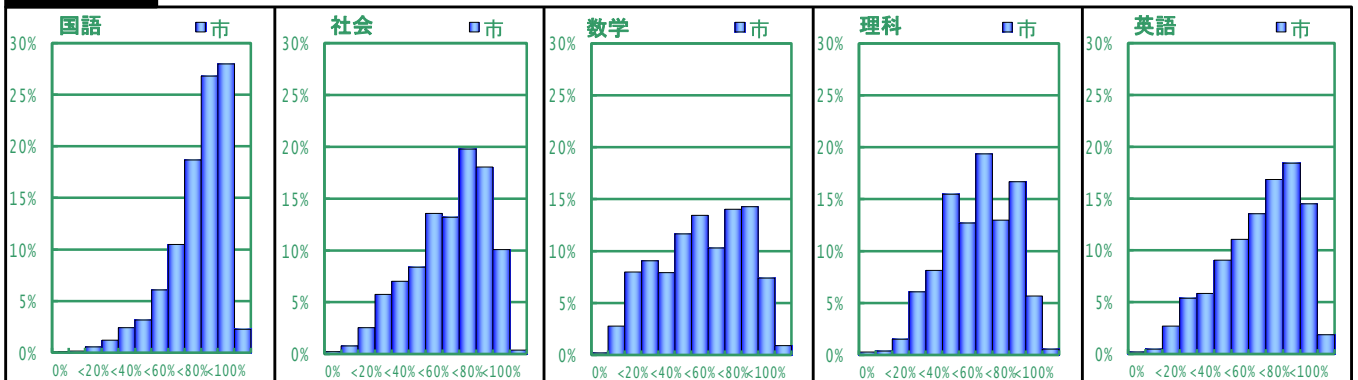
小5



中1



中2



岡山市の子どもたちの課題

◆国語の結果からわかること

◇ 課題 目的や意図に応じて相手に分かりやすく書くこと

〈小5の問題〉

③ 「フート」を見ながら、「ポスター」の「ウ」に入る文章を、次の〈注意する点〉を守って書きましょう。

② 漢字のまちがいや、文の終わりの書き方に気を付けて、四十字以上、六十字以内で書きましょう。句読点（「、」「。」）も字数に入ります。

※解答らんのかいどうの◆の印から書きましょう。

〈調査問題より一部抜粋〉

6

◎行動するときに、気をつけよう。

さいがいさいがいが起きたときには、次の二つのことに気をつけて、行動するようにしましょう。

一つ目は、

ウ

いざいいざいというときのために、この二つのことを覚えておきましょう。

行動するときに注意すること

- ・名前をよばれたら、大きな声で返事をする。
- ・みんなとはぐれたら、学校に行く。

一人一人が用意するもの

- ・ハンカチ
- ・笛
- ・電話用のお金
- ・電話番号のメモ

家族で用意するもの

- ・タオル
- ・ひじょう食
- ・ビニールぶくろ
- ・水
- ・新聞紙
- ・かい中電灯

川田かわたさんは、さいがいさいがいにそなえて家族で気をつけることを、ポスターにまとめました。川田さんの「ポスター」を見て、あとの問題に答えましょう。

平均正答率① 53.8% <目標値70%>

② 50.3% <目標値70%>

◆国語の指導の改善に向けて

◇ 書くことに関する問題では、小中ともに改善傾向が見られたが、依然として課題が残る。小・中ともに、系統的、継続的に書くことの指導を行っていく必要がある。

◇ 小5の解答類型から、条件に沿った書き出しができていなかった児童や、文末表現に気を付けて書くことができていなかった児童が多いことが分かる。書き出しの表現を工夫しながら順序立てて書く、目的や相手に応じて常体や敬体を使い分けるなど、目的や意図に応じて書くことに加え、既習事項を活用して自分の書いた文章を推敲する活動を授業の中に取り入れていくことが大切である。

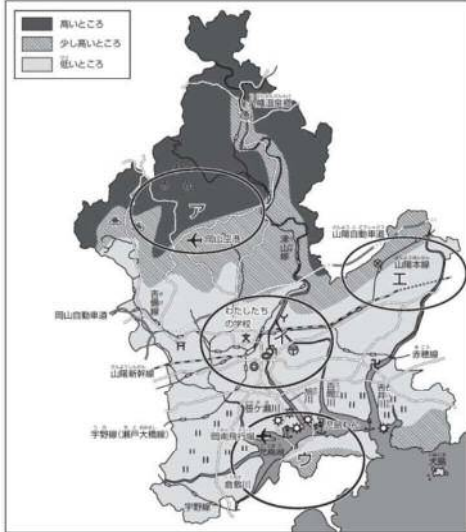
◆社会の結果からわかること

◇ 課題 岡山市の土地利用についての資料と文章を関連付けて考える。

◇ 課題 複数の資料を読み取り、関連付けて考える。

〈小4の問題〉

2 次の地図は、岡山市の様子を表した地図です。これを見て、あとの問題に答えましょう。



(3) 岡山市の土地はどのように利用されていますか。まちがっているものを次の1～4から1つえらんで、その番号を書きましょう。

〈調査問題より一部抜粋〉

平均正答率 54.2% <目標値70%>

〈中2の問題〉

3 アフリカ州と北アメリカ州について、次の問いに答えなさい。

(2) 次の資料ウ中のAの国の産業について、あとの問いに答えなさい。



① Aの国の農業の特徴について、次の資料エ、資料オをもとに、「大型機械」と「人手」の2つの語句を使って説明しなさい。

資料エ コンバインを使った収穫の様子



資料オ 農民1人あたりの耕地面積



〈調査問題より一部抜粋〉

平均正答率 65.0% <目標値80%>

◆社会の指導の改善に向けて

◇ 小4の岡山市の様子を考える問題では、河川の名前や施設の名前を読み取ることはできているものの、土地が「高いところ」「少し高いところ」「低いところ」という複数の情報とそれについて解説する文章とをつなげて考えることに課題が見られた。

地図から河川や施設名、地図記号を探す学習に加え、地図からどのようなことが分かるかということ、複数の情報を関連付けて考えたり、説明したりする授業展開を大切にしていきたい。

◇ 中2の北アメリカ州の国の農業について考える問題では、複数の資料と言葉をつなげて考え、説明することに課題が見られた。

個々の資料から読み取った内容を相互に関連付け、知識の概念化を促し、理解を一層深められるような授業展開を大切にしていきたい。

◆算数・数学の結果からわかること

◇ 課題 式の意味の理解	◇ 課題 図形の性質の理解				
<p>〈小5の問題〉大問11</p> <p>11 答えが$100 - 40 \times 2$の式で求められる問題はどれですか。答えは1～4から1つ選んで、その番号を書きましょう。</p> <p>1 1本100円のペンを40円引きで売られています。そのペンを2本買いました。代金はいくらですか。</p> <p>2 1本100円のペンと1本40円のえんぴつを2本ずつ買いました。代金はいくらですか。</p> <p>3 100円玉を1まい持って買い物に行きました。1こ40円のあめを2こ買いました。おつりはいくらですか。</p> <p>4 1こ100円のチョコレートと1こ40円のガムを2こ買いました。代金はいくらですか。</p> <p>平均正答率 49.8% <目標値70%></p> <p>〈中2の問題〉大問4</p> <p>(5) 4人が1人x円ずつ出し合って、5000円の品物を買ったときの残金を表す式として正しいものはどれですか。答えは次のア～エから1つ選びなさい。</p> <table border="0"> <tr> <td>ア $5000 - 4x$</td> <td>イ $4x + 5000$</td> </tr> <tr> <td>ウ $4x - 5000$</td> <td>エ $4x - 1250$</td> </tr> </table> <p>〈調査問題より一部抜粋〉</p> <p>平均正答率 35.2% <目標値70%></p>	ア $5000 - 4x$	イ $4x + 5000$	ウ $4x - 5000$	エ $4x - 1250$	<p>〈小4の問題〉大問10</p> <p>10 かずみさんは、正方形の色紙を使って正三角形をつくらうとしています。次のつくりかたの中で、正三角形ができるものはどれですか。答えは1～3から1つえらんで、その番号を書きましょう。</p> <p>1 たて半分におり目をつける。 上のように3点をとる。 3点をむすぶ。</p> <p>2 たて半分におり目をつける。 右下のちよう点をおり目の上に重ねて、上のように3点をとる。 3点をむすぶ。</p> <p>3 たて半分におり目をつける。 横半分におり目をつけて、上のように3点をとる。 3点をむすぶ。</p> <p>〈調査問題より一部抜粋〉</p> <p>平均正答率 33.2% <目標値50%></p>
ア $5000 - 4x$	イ $4x + 5000$				
ウ $4x - 5000$	エ $4x - 1250$				

◆算数・数学の指導の改善に向けて

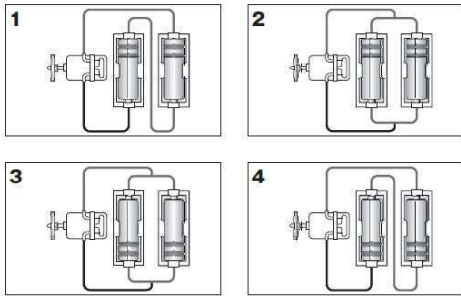
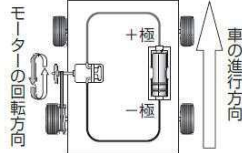
<p>◇ 数量の関係を表す式の意味を理解することに課題が見られ、小5・中2ともに正答率が低い。小5の問題では「1」と誤答した児童の割合が32.8%、中2の問題では「ア」と誤答した生徒の割合が57.3%であり、正答を解答した生徒の割合を大きく上回っている。</p> <p>式の指導においては、具体的な場面に対応させながら、事柄や関係を式に表すことができるようにする。さらに、式を通して場面などの意味を読み取り言葉や図を用いて表したり、式と図などによる表現を関連付けて考えたり、表現したりする工夫を図っていききたい。</p> <p>◇ 正三角形の意味や性質を理解することに課題が見られ、小4の問題では、「1」と誤答した児童の割合が33.5%と、正答を解答した児童の割合を上回っている。</p> <p>正三角形の意味や性質は、定規やコンパスによる作図、ひご等による構成、紙を折るなどの活動を豊かに行うことを通して、帰納的に理解できるような指導の工夫を図っていききたい。</p>

◆理科の結果からわかること

◇ 課題 モーターを指定された向きに長時間回転させるためには乾電池をどのようにつなげばよいか考える。

〈小5の問題〉大問5

(3) 3人は、かん電池で動く車を長時間動かそうと車に工夫することにしました。かん電池を2つ使って進行方向に長時間動かすには、どのようにつなげばよいですか。次の1~4から1つ選んで、その番号を書きましょう。



〈調査問題より一部抜粋〉

平均正答率 34.3% <目標値 60%>

◇ 課題 光合成の実験について必要な物質をBTB溶液の色の変化から考える。

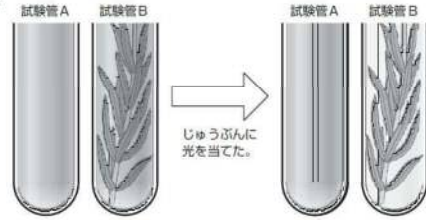
〈中2の問題〉大問2

2 光合成と出入りする気体の関係について調べるために、次のような実験1、実験2を行いました。あとの問いに答えなさい。

【実験1】

- ① 青色(アルカリ性)のBTB溶液を用意した。そこに息をふきこんで緑色(中性)にした。
- ② 図1のように、緑色のBTB溶液を2本の試験管A、試験管Bに入れ、試験管Bにはオオカナダモを入れた。
- ③ 両方の試験管にじゅうぶんに光を当てた。
- ④ しばらくすると、試験管AのBTB溶液は緑色のまま変化せず、試験管BのBTB溶液は色が変わった。

図1



(1) 実験1の④で、試験管BのBTB溶液はどのように変わったと考えられますか。次の1~4から1つ選びなさい。

- 1 光合成で発生した酸素が多くなったために、黄色に変化した。
- 2 光合成で発生した酸素が多くなったために、青色に変化した。
- 3 光合成で二酸化炭素が使われて少なくなり、黄色に変化した。
- 4 光合成で二酸化炭素が使われて少なくなり、青色に変化した。

〈調査問題より一部抜粋〉

平均正答率 19.8% <目標値 70%>

◆理科の指導の改善に向けて





◇ 小学校では、長時間モーターを動かすためには乾電池をどのようにつなげばよいかという問いに課題が見られた。

電流の大きさや向き、乾電池につないだものの様子に着目して関係付け、電流のはたらきを調べる活動を通して理解を図るとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けさせたい。また、既習の内容や生活経験を基に、根拠ある予想や仮説を発想する力の育成を図っていくための授業改善に取り組んでいきたい。

◇ 中学校2年生では、葉で行われる光合成の実験にBTB溶液を用いるが、BTB溶液の性質の理解とともに具体的な実験の方法の検討にも課題が見られる。つまり、何のためにBTB溶液を用いるのか十分理解できていない。

小学校での植物に関する学習を基に、見通しをもって実験の条件を検討し、実験の計画を立案するような学習場面の設定を考え、得られた結果を分析して解釈し、光合成と植物の体のつくりと働きに関連性を見出すような探究の過程を重視した授業改善を図りたい。

◆英語の結果からわかること

<p>◇ 課題 まとまった英語を聞き取り、 適する絵を答えること</p>	<p>◇ 課題 対話文の内容から判断し、空欄に 適する英単語を書くこと</p>
<p>〈中1の問題〉大問8</p> <p>8 これから、さくらさんが発表をしているようすを放送します。その放送を聞いて、下の質問に合う絵を、1～3の中から1つずつ選びましょう。</p> <p>(1) さくらさんは、何歳ですか。</p>  <p>(2) さくらさんの1番の思い出は何ですか。</p>  <p>(3) さくらさんが京都に行ったのは、何月ですか。</p>  <p>(4) さくらさんは、何を楽しみましたか。</p>  <p>〈調査問題より一部抜粋〉</p> <p>平均正答率 (1) 53.1% (4) 54.8%</p>	<p>〈中2の問題〉大問5</p> <p>(2) 次の①～④の対話文が成り立つように、それぞれ()に入る適切な英語1語を書きなさい。ただし、()内の文字で始まる語とすること。</p> <p>① A: My birthday is May 31. B: Oh, the next day is my birthday. It's (J) 1.</p> <p>② A: It's around noon. Time for (1). B: Let's go to a restaurant.</p> <p>③ A: What does your sister do on Sundays? B: She (r) books.</p> <p>④ A: What did you eat for breakfast this morning? B: I (a) rice, miso soup and salad.</p> <p>〈調査問題より一部抜粋〉</p> <p>平均正答率 ① 34.5% <目標値50%> ② 43.3% <目標値40%> ③ 38.3% <目標値40%> ④ 48.0% <目標値50%></p>

◆英語の指導の改善に向けて

<p>◇ 中1の問題では、まとまった英語を聞き取る問題において、正答率が低くなっている。授業において、一問一答形式だけでなく、まとまった量の英語から、必要な情報を聞き取ったり、概要を捉えたりする発展的な活動も充実させていきたい。</p> <p>中2の問題は、英語での対話文の内容から判断し、空欄に適する英単語を書く問題である。単語の最初の文字を示しているにも関わらず、正答率が低いのは、文脈を読み取る力が不足しているためと考えられる。英語でのコミュニケーション活動を充実させ、即興的に対話をする力を付けていきたい。</p> <p>◇ 全般的に英語で解答を書く問題について、無解答率が高くなっている。既習の語句や基本的な表現などの学習を繰り返し指導し、定着を図っていきたい。</p>
--

◆質問紙の結果概要

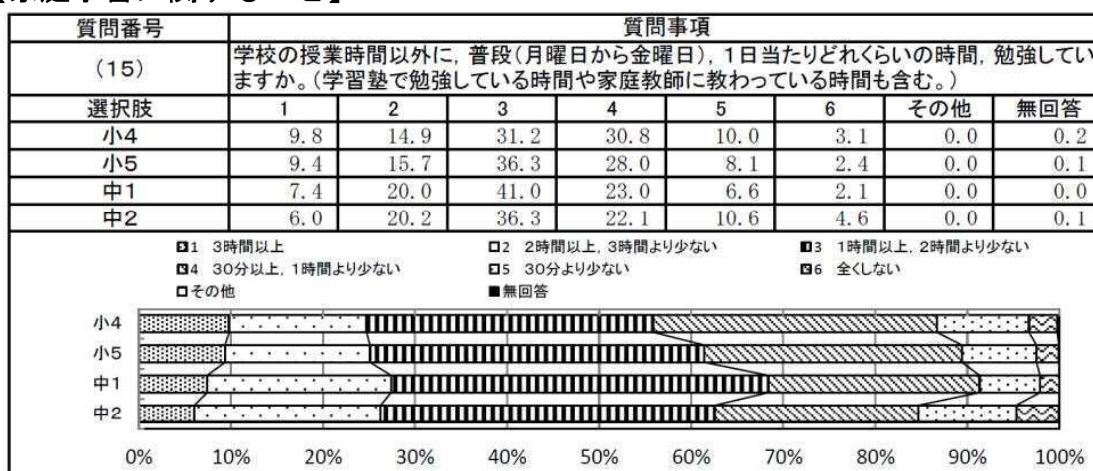
授業や家庭学習に関する質問は、昨年度の同学年に比べほとんどの項目で改善していることから、現在、全市で取り組んでいる授業改善や家庭学習の工夫について、成果が表れてきていると考えられる。

一方、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを使用する時間は、学年が進むにつれて長時間化するだけでなく、1時間以上使用する時間は、昨年度に比べて、全学年で3ポイント以上増加している。

メディアの適切な使用について、児童会、生徒会主体の取組、校種を超えた連携や保護者と協力した取組が必要である。例えば、中学校の定期考査に合わせて「オフメディアの取組」を中学校区で揃え同一期間で実施するなどの取組が考えられる。

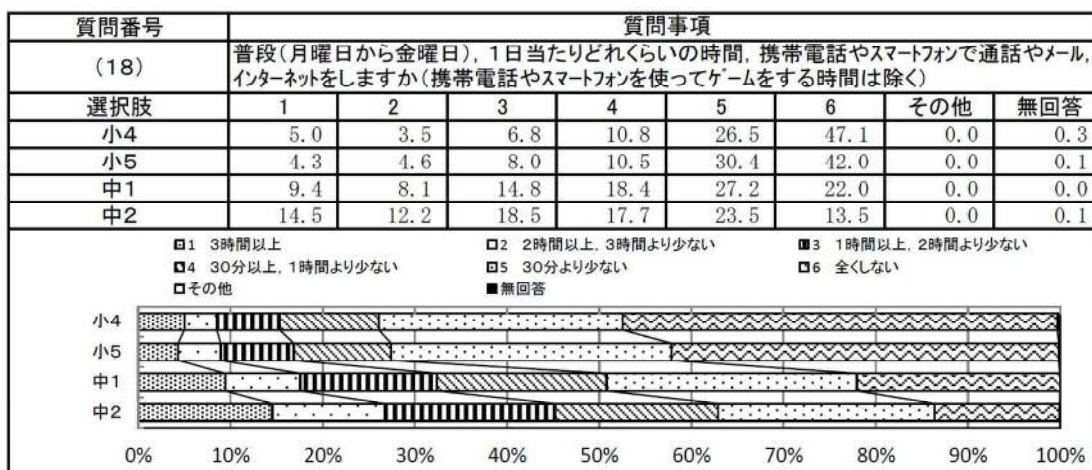
◆課題がある項目

【家庭学習に関すること】



- ◇ 小学校第4学年から中学校第1学年まで、1日1時間以上勉強する児童生徒は、増加している。しかし、中学校第2学年では、中学校第1学年に比べ5.8ポイント減少している。

【基本的生活習慣に関すること】



- ◇ 学年が上がるにつれて、使用時間が増加する傾向にあり、特に、中学校第1学年では、小学校第5学年に比べて、1日に1時間以上使用する割合が15.5ポイント、増加率が197%である。中学校第2学年では、1日2時間以上使用する生徒の割合は26.7%、4分の1以上に及び、基本的生活習慣の乱れや視力低下などの健康面への影響が心配される。